

家庭数

令和6年3月11日

保護者様

我孫子市立久寺家中学校
校長 鴨下 隆

学校評価（生徒・保護者）アンケート集計結果のお知らせ

1. 回収 生徒451名 保護者237名

2. 文書内の表記について

生徒	A	B	保護者	C	D
----	---	---	-----	---	---

A, B, C, D内の数字は各質問に対する回答の%を示します。

Aは「そう思う」、「だいたいそう思う」の合計。

Bは「あまりそう思わない」、「そう思わない」、「無回答」の合計。

Cは「当てはまる」、「だいたい当てはまる」の合計

Dは「あまり当てはまらない」、「当てはまらない」、「無回答」の合計。

実際の質問は各々4段階でしたが、この文書では2段階の%で示します。

また、どちらかに該当する質問がない場合には、斜線とします。

2. 集計結果

① 教育活動は、目的やねらいが明確に示されたか。

生徒	/	/	保護者	88	12
----	---	---	-----	----	----

昨年度に比べ、3ポイント下がってしまいました。教科の学習だけでなく、様々な教育活動を行ってきましたが、今回の学校評価アンケートの結果から明確さに欠ける項目について来年度は、保護者会、PTA本部との会合などを通してご意見をうかがいたいと思います。また、生徒の姿を通して、保護者の皆さまに伝わるよう支援・指導に尽力していきたいと思えます。

② 授業について、学習のねらいが明確だったか。

生徒	92	8	保護者	/	/
----	----	---	-----	---	---

昨年度と同じ結果となりました。90%は越えたものの、まだ伝わり切れてないということが今年度も数字に表れました。これからも一人ひとりを大切にして参ります。

学習のねらいを理解し、目標をもって学習に取り組めたか。

生徒	86	14	保護者	73	27
----	----	----	-----	----	----

上記の設問と関係していると考え、ねらいが明確に示されたが、それに対して十分に取り組みなかったと自覚する生徒が数%いたと考えられます。この差を埋めるよう、学習のねらいがより生徒の身近なものになるよう、またその意図が生徒により深く伝わるよう工夫して参ります。

③ タブレットの活用等、工夫した授業を行っていたか。（生徒質問）

タブレットの活用、その他工夫ある取り組みを行っていると感じたか。（保護者質問）

生徒	93	7	保護者	62	38
----	----	---	-----	----	----

今年度も生徒と保護者の皆様の結果に、差が生まれました。コロナ禍の時に比べ、家に持

ち帰らせての学習や家からの課題提出の機会等も減り、保護者の皆様には利用する姿を見る機会が比例して減ってしまったのも、要因の一つと推察します。生徒については昨年度に比べA部分が微増しました。校内での取り組みが伝わるよう発信していきたいと思ひます。

④ 生徒一人一人の理解度を確認しながら授業が行われた

生徒	87	13	保護者	68	32
----	----	----	-----	----	----

生徒も保護者の皆様もAC部分が微増しました。ただ保護者の皆様の受け止めにはD部分のご意見も見られます。今後も引き続き一人ひとりの様子を観察しながら、授業を進めて参ります。

⑤ 通知表の評価についての説明のわかりやすさ

生徒	92	8	保護者	85	15
----	----	---	-----	----	----

生徒に関しては昨年度と同程度の割合となりました。保護者の皆様に関しては、7ポイント上がりました。今後も説明責任を果たせるように根拠を明確にして、事前・事後の説明がしっかりと行えるよう努めて参ります。

⑥ 部活や行事、委員会活動など仲間と協力して粘り強く取り組めたか。

生徒	92	8	保護者	89	11
----	----	---	-----	----	----

自分の意見や取り組みを仲間他に人に発信することができたか。

生徒	85	15	保護者	/	/
----	----	----	-----	---	---

学習同様、人と関わること、繋がることは学校生活の中で重要なことだと考えています。またこれらは将来の生活にも必要不可欠なことです。保護者の皆様の目からは、仲間との協力、粘り強さは僅かに昨年度に比べるとポイントが低くなりましたが、生徒に関しては昨年度と変わらぬ割合となりました。本校の学校目標の一つである、発信力という点では、コロナも明け、機会も増えたことから、生徒自身が実感をする機会が増えたことで、上向いたと考えられます。実践、実体験をこれからも大切なことと考えていきたいと思ひます。

⑦ 先生・職員・学校は一方的でなく、寄り添うものであったか。

生徒	90	10	保護者	86	14
----	----	----	-----	----	----

先生は相談しやすい雰囲気を作っていたか。

生徒	83	17	保護者	/	/
----	----	----	-----	---	---

一昨年度から昨年度にかけて生徒に関するA部分でポイントを下げていましたが、今年度は上向きになりました。コロナ禍を抜け出し、生徒と職員のコミュニケーションもより密なものに戻ってきていると感じます。今後も一方的にならず、個々の悩み等に関して、寄り添う姿勢を大切にして参ります。担任だけでなく、校内の様々な立場の職員、また、内容によっては教育相談センター、教育支援センター、我孫子市こども相談課などとの連携も継続して参ります。

⑧ 学習や心の面で成長できたと感じるか。

生徒	93	7	保護者	/	/
----	----	---	-----	---	---

本校の教育活動は生徒一人一人に目を向けるものであり、生徒の成長が感じられた

生徒	/	/	保護者	81	19
----	---	---	-----	----	----

昨年度と比べて生徒のA部分が上向きとなり、成長を実感した生徒の割合が増えたようです。活動できる場面も多くなり、その中で感じることもできたことが関係していると思ひま

す。一人でも多くの生徒が自身の成長を感じ取ってもらえるよう支援を行い、保護者の皆様にも同様に感じて頂けるよう努力して参ります。

⑨ 今年、相手の良さを認め、相手を尊重できた

生徒	96	4	保護者	/	/
----	----	---	-----	---	---

昨年度と同様の結果となりました。コロナ禍と比べ、仲間との活動場面も増え、密なコミュニケーションが求められる中、より一層必要不可欠な心の有り様と考えられます。このように生徒が自覚できていることは、大変うれしいことと感じます。

⑩ 学校はHPや学校便り、学年だより、学級通信等で必要な情報を発信していた

生徒	/	/	保護者	80	20
----	---	---	-----	----	----

学校や担任は保護者の相談や意見を受け取る体制になっていた

生徒	/	/	保護者	82	18
----	---	---	-----	----	----

昨年度に比べ、上向きの傾向となりました。コロナ禍を抜け出し、書面やWEB上だけでなく、参観なども含めてこれからも継続して生徒、学校の情報を発信していきたいと思います。

⑪ いじめに対して迅速かつ適切に対応した

生徒	92	8	保護者	87	13
----	----	---	-----	----	----

学校はけがや体調管理に関して適切な措置を迅速に行った

生徒	/	/	保護者	93	7
----	---	---	-----	----	---

安心して学校へ登校する（送り出す）ことができたか。

生徒	95	5	保護者	92	8
----	----	---	-----	----	---

上記は安心した学校生活についての指標と捉えております。昨年度に比べ、保護者の皆様のけが等に対する措置の迅速さに関するご意見は僅かにポイントを下げましたが、その他に関しては生徒・保護者の皆様から好意的なご意見が増えました。いじめへの迅速・適切な対応では保護者の皆様のご意見も上向きではありますが、今後も更に迅速さ、適切さを心がけ、対応して参ります。

⑫ 久寺家中学校区は、小中一貫教育の充実に努めている。

生徒	/	/	保護者	75	25
----	---	---	-----	----	----

訪れる側の小学生に比べ、受け入れ側の中学生からの情報は保護者の方には伝わりづらい項目かもしれませんが、昨年度に比べると上向きの結果となりました。学校単位だけでなく、中学校の部活動という単位でも児童と生徒の交流などは行われております。情報を発信し、連携した教育課程などを模索し、今後も両小学校と連携して参りたいと思います。

昨年度に比べ、保護者の皆様の回答数が増えました。ありがとうございます。

本アンケート結果については、本校学校運営協議会委員の方々にも報告をさせていただき、来年度へのご助言をいただきました。

以上、本アンケートで示された内容を、皆様のご意見、励ましと捉え、更に安心していただける学校、保護者の皆さまとともに生徒の成長を支えていける学校を目指してまいります。